

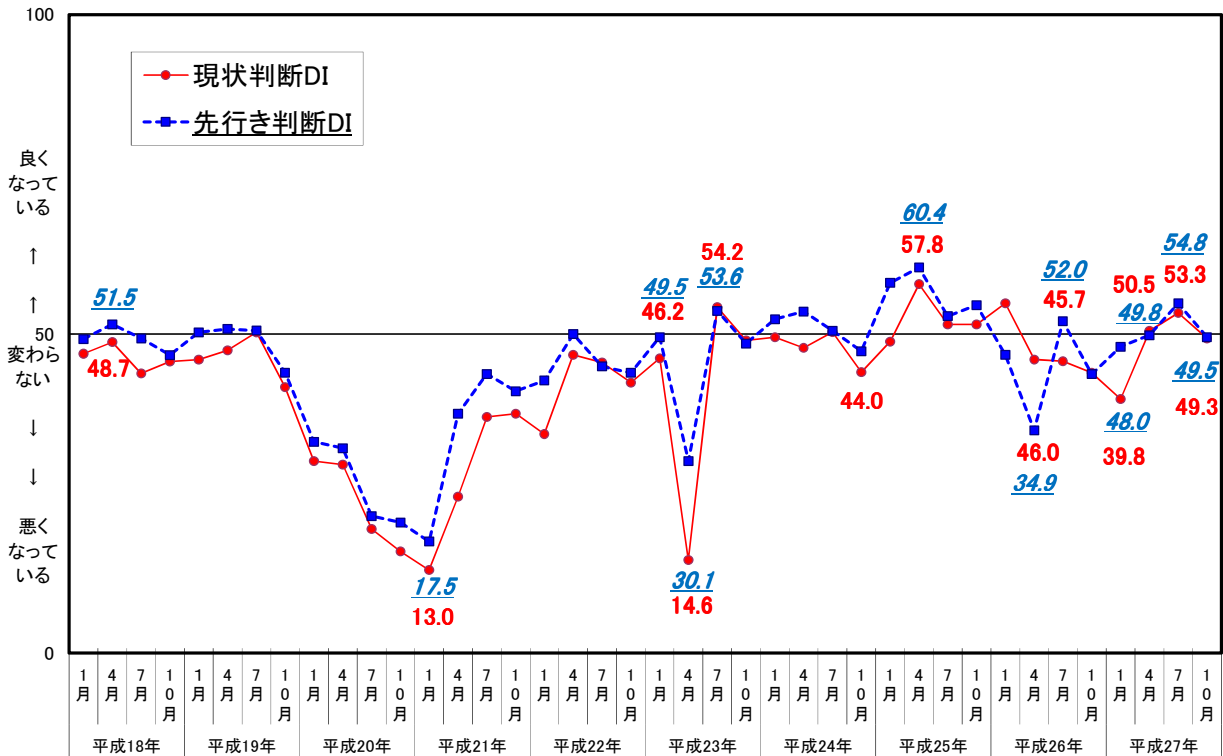
青森県景気ウォッチャー調査 (平成27年10月期)

調査期間 平成27年10月1日～10月13日 回答率100%

概況

10月期の景気現状判断DIは49.3と、3期ぶりに横ばいを示す50を下回った。先行き判断DIは49.5と、2期ぶりに横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成27年11月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
 - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断
参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が横ばい、「やや良くなっている」が7.0ポイント減少、「変わらない」が2.0ポイント減少、「やや悪くなっている」が9.0ポイント増加、「悪くなっている」が横ばいであったことにより、全体では4.0ポイント減少の49.3となり、景気の横ばいを示す50を3期ぶりに下回った。

判断理由では、プレミアム商品券の効果により売上が増加した、シルバーウィークによりお客様の動きが多かった、採用活動を積極的に展開している企業が増加しているといったプラス面をあげる声があった一方で、不要な物は消費しない、客数、客単価に変化はない、売上は前年並みの進捗、悪い材料はないが、良い材料もないといった動きの少ない状況をあげる声が多かった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連の飲食のみ10.4ポイント増加したものの、家計関連全体で3.3ポイント減少、企業関連で7.0ポイント減少、雇用関連で3.6ポイント減少した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区でポイントが減少し、東青、下北地区では、景気の横ばいを示す50を3期ぶりに下回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が横ばい、「やや良くなる」が18.0ポイント減少、「変わらない」が16.0ポイント増加、「やや悪くなる」が1.0ポイント増加、「悪くなる」が1.0ポイント増加したことにより、全体では5.3ポイント減少の49.5となり、景気の横ばいを示す50を2期ぶりに下回った。

判断理由では、年末の動きに期待する声があった一方で、灯油等の燃料費の負担増加、プレミアム商品券の効果の反動、アジア諸国の景気悪化による注文の減少、賃金のベースアップに伴う固定費の上昇を懸念する声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連の飲食のみ4.2ポイント増加したものの、家計関連全体で6.0ポイント減少、企業関連で2.8ポイント減少、雇用関連で3.6ポイント減少した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、県南地区で0.8ポイント増加したものの、その他の地区では減少した。東青、県南地区では、景気の横ばいを示す50を上回ったものの、下北地区では50ちょうど、津軽地区では50を下回った。

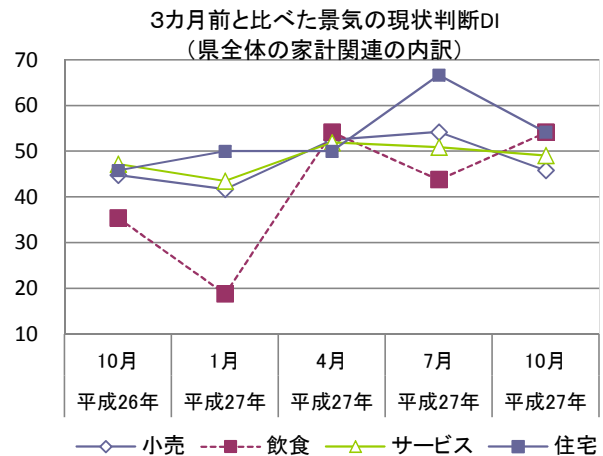
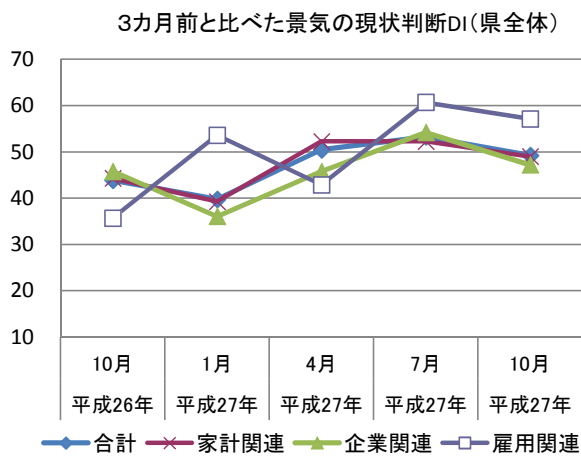
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

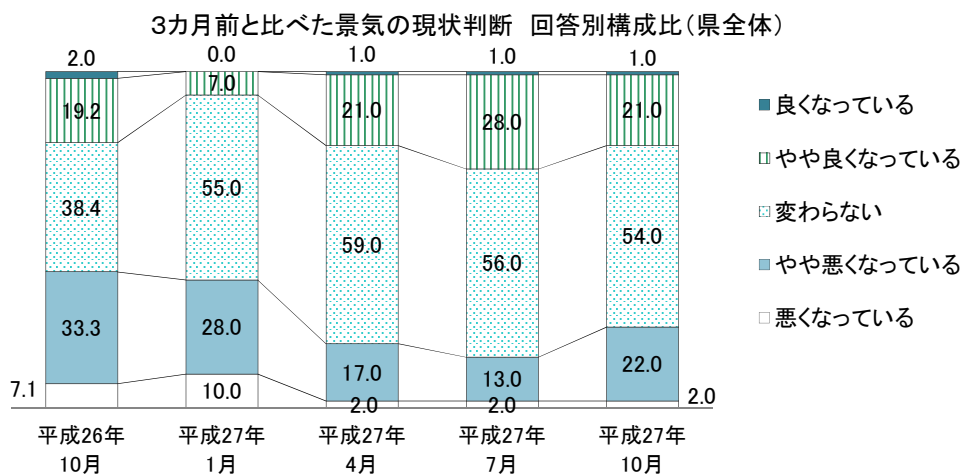
n = 100

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	43.9	39.8	50.5	53.3	49.3	▲ 4.0
家計関連	44.3	39.3	52.3	52.3	49.0	▲ 3.3
小売	44.8	41.7	52.5	54.2	45.8	▲ 8.4
飲食	35.4	18.8	54.2	43.8	54.2	10.4
サービス	47.2	43.5	51.9	50.9	49.1	▲ 1.8
住宅	45.8	50.0	50.0	66.7	54.2	▲ 12.5
企業関連	45.8	36.1	45.8	54.2	47.2	▲ 7.0
雇用関連	35.7	53.6	42.9	60.7	57.1	▲ 3.6



②回答別構成比 (%)

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
良くなっている	2.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0
やや良くなっている	19.2	7.0	21.0	28.0	21.0	▲ 7.0
変わらない	38.4	55.0	59.0	56.0	54.0	▲ 2.0
やや悪くなっている	33.3	28.0	17.0	13.0	22.0	9.0
悪くなっている	7.1	10.0	2.0	2.0	2.0	0.0

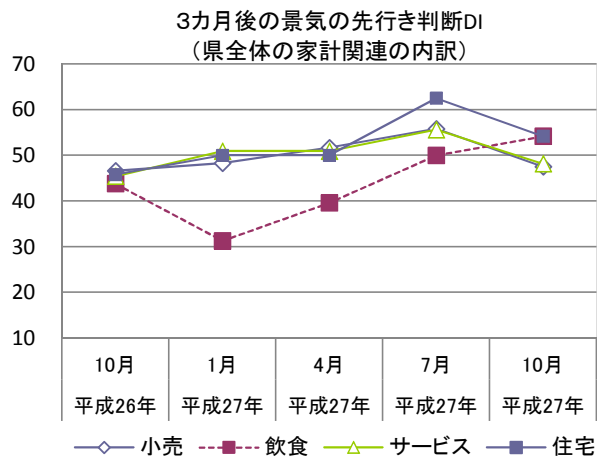
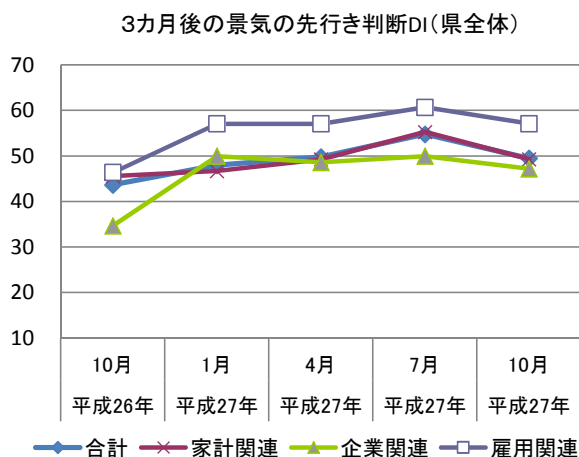


(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

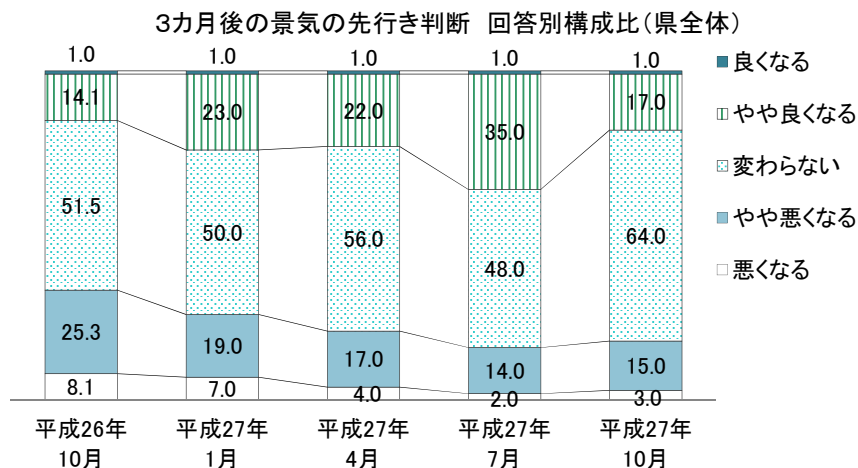
n = 100

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	43.7	48.0	49.8	54.8	49.5	▲ 5.3
家計関連	45.6	46.7	49.3	55.3	49.3	▲ 6.0
小売	46.6	48.3	51.7	55.8	47.5	▲ 8.3
飲食	43.8	31.3	39.6	50.0	54.2	4.2
サービス	45.4	50.9	50.9	55.6	48.1	▲ 7.5
住宅	45.8	50.0	50.0	62.5	54.2	▲ 8.3
企業関連	34.7	50.0	48.6	50.0	47.2	▲ 2.8
雇用関連	46.4	57.1	57.1	60.7	57.1	▲ 3.6



②回答別構成比 (%)

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
良くなる	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0
やや良くなる	14.1	23.0	22.0	35.0	17.0	▲ 18.0
変わらない	51.5	50.0	56.0	48.0	64.0	16.0
やや悪くなる	25.3	19.0	17.0	14.0	15.0	1.0
悪くなる	8.1	7.0	4.0	2.0	3.0	1.0



3. 地区別の動向

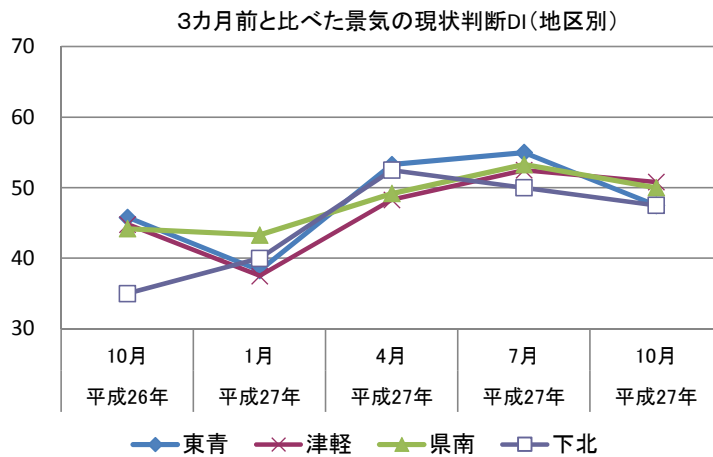
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①D I

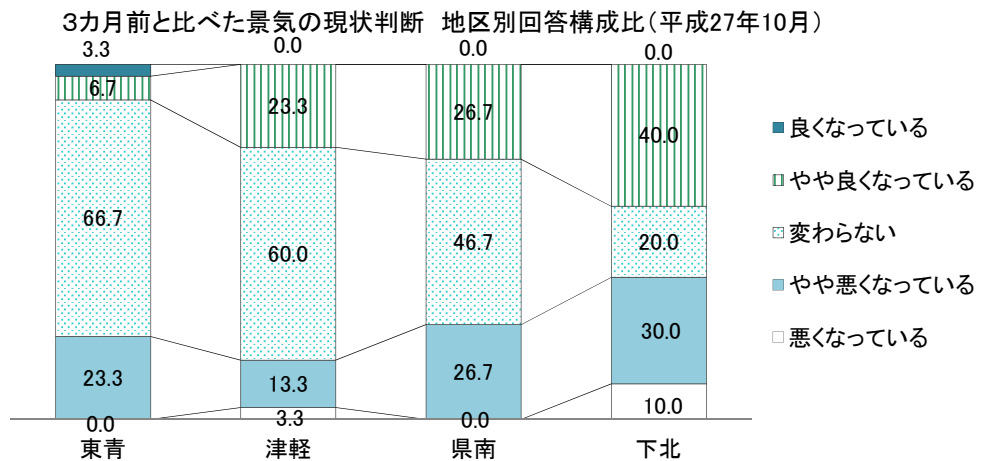
n = 100

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	43.9	39.8	50.5	53.3	49.3	▲ 4.0
東青	45.8	38.3	53.3	55.0	47.5	▲ 7.5
津軽	44.8	37.5	48.3	52.5	50.8	▲ 1.7
県南	44.2	43.3	49.2	53.3	50.0	▲ 3.3
下北	35.0	40.0	52.5	50.0	47.5	▲ 2.5



②地区別回答構成比(%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	6.7	23.3	26.7	40.0
変わらない	66.7	60.0	46.7	20.0
やや悪くなっている	23.3	13.3	26.7	30.0
悪くなっている	0.0	3.3	0.0	10.0



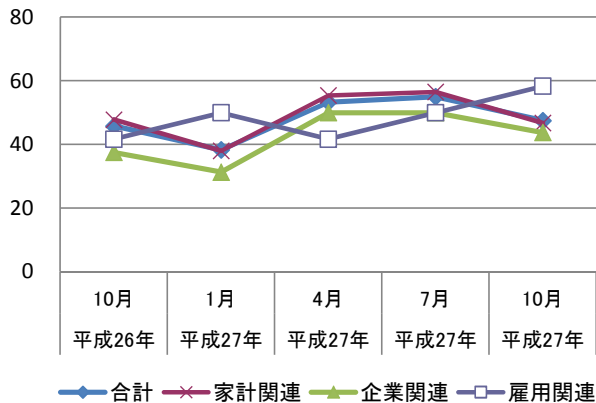
<東青地区>

①D I

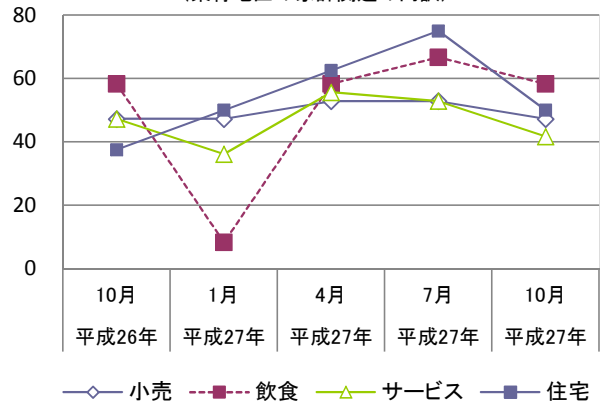
n= 30

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	45.8	38.3	53.3	55.0	47.5	▲ 7.5
家計関連	47.8	38.0	55.4	56.5	46.7	▲ 9.8
小売	47.2	47.2	52.8	52.8	47.2	▲ 5.6
飲食	58.3	8.3	58.3	66.7	58.3	▲ 8.4
サービス	47.2	36.1	55.6	52.8	41.7	▲ 11.1
住宅	37.5	50.0	62.5	75.0	50.0	▲ 25.0
企業関連	37.5	31.3	50.0	50.0	43.8	▲ 6.2
雇用関連	41.7	50.0	41.7	50.0	58.3	8.3

3か月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



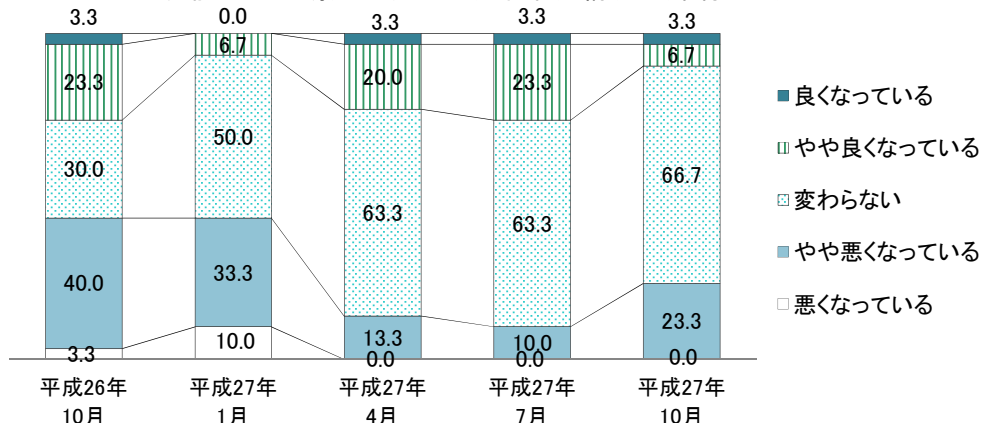
3か月前と比べた景気の現状判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0
やや良くなっている	23.3	6.7	20.0	23.3	6.7	▲ 16.6
変わらない	30.0	50.0	63.3	63.3	66.7	3.4
やや悪くなっている	40.0	33.3	13.3	10.0	23.3	13.3
悪くなっている	3.3	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)



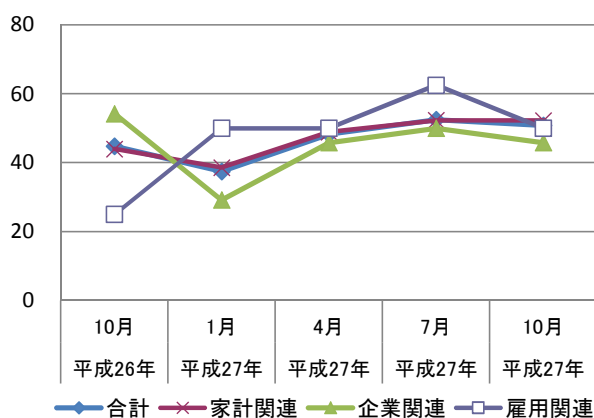
<津軽地区>

①DI

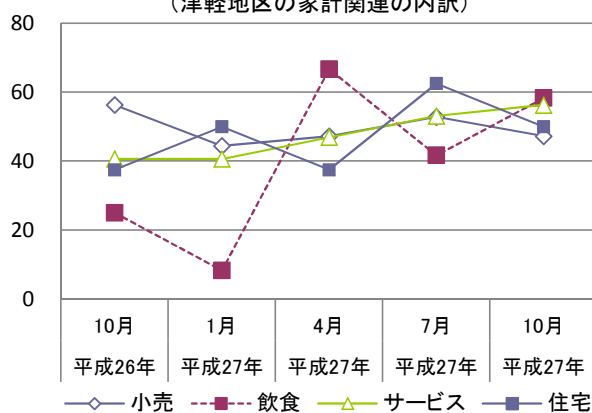
n=30

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	44.8	37.5	48.3	52.5	50.8	▲ 1.7
家計関連	44.0	38.6	48.9	52.3	52.3	0.0
小売	56.3	44.4	47.2	52.8	47.2	▲ 5.6
飲食	25.0	8.3	66.7	41.7	58.3	16.6
サービス	40.6	40.6	46.9	53.1	56.3	3.2
住宅	37.5	50.0	37.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	54.2	29.2	45.8	50.0	45.8	▲ 4.2
雇用関連	25.0	50.0	50.0	62.5	50.0	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



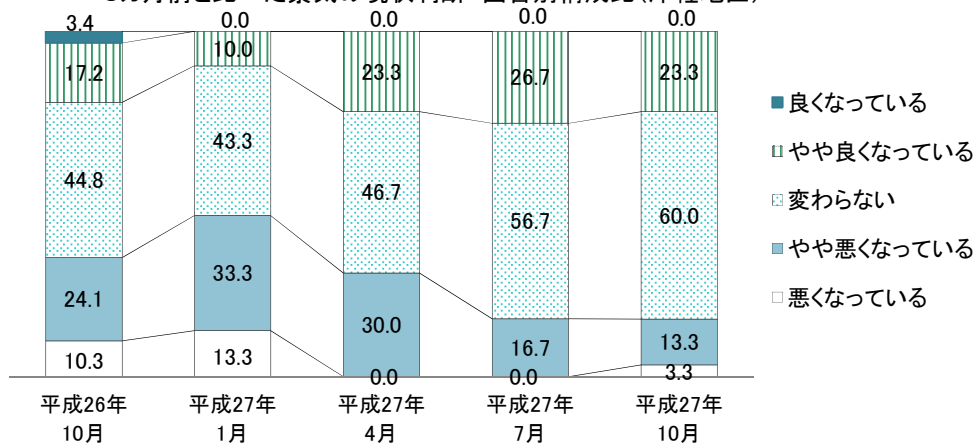
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比(%)

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
良くなっている	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	17.2	10.0	23.3	26.7	23.3	▲ 3.4
変わらない	44.8	43.3	46.7	56.7	60.0	3.3
やや悪くなっている	24.1	33.3	30.0	16.7	13.3	▲ 3.4
悪くなっている	10.3	13.3	0.0	0.0	3.3	3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)



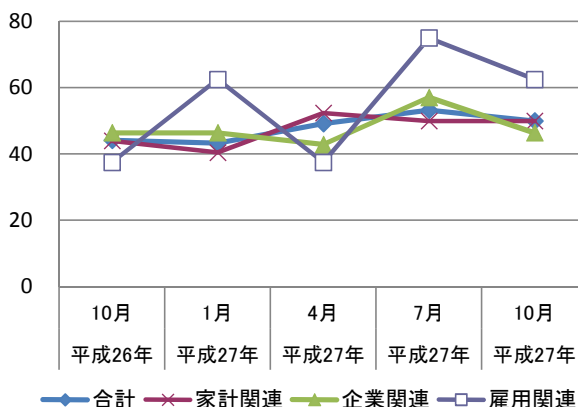
< 県南地区 >

① D I

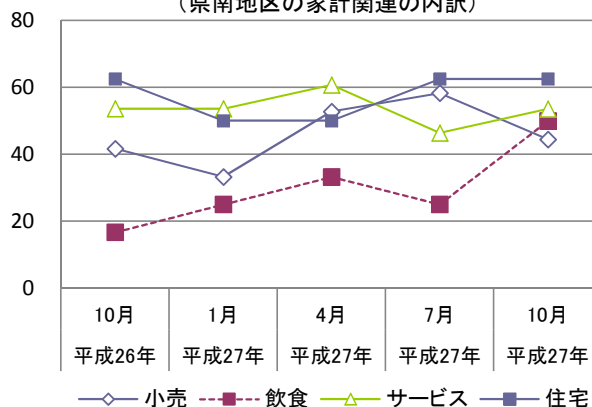
n = 30

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	44.2	43.3	49.2	53.3	50.0	▲ 3.3
家計関連	44.0	40.5	52.4	50.0	50.0	0.0
小売	41.7	33.3	52.8	58.3	44.4	▲ 13.9
飲食	16.7	25.0	33.3	25.0	50.0	25.0
サービス	53.6	53.6	60.7	46.4	53.6	7.2
住宅	62.5	50.0	50.0	62.5	62.5	0.0
企業関連	46.4	46.4	42.9	57.1	46.4	▲ 10.7
雇用関連	37.5	62.5	37.5	75.0	62.5	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



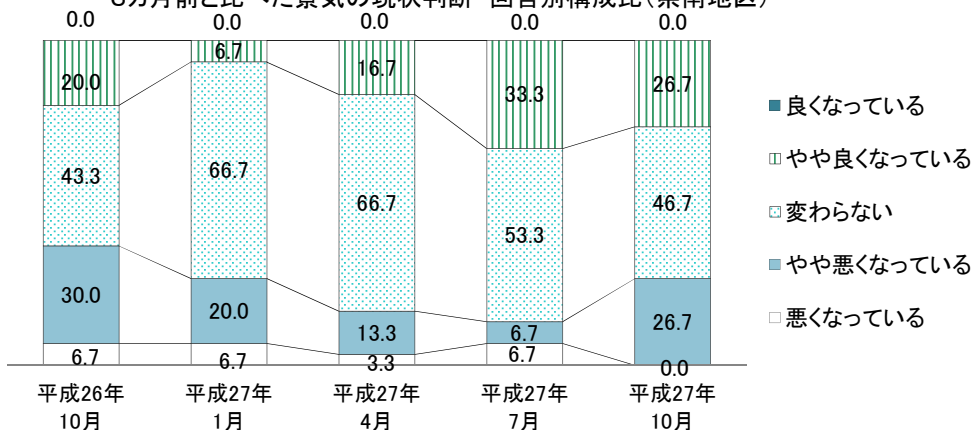
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	6.7	16.7	33.3	26.7	▲ 6.6
変わらない	43.3	66.7	66.7	53.3	46.7	▲ 6.6
やや悪くなっている	30.0	20.0	13.3	6.7	26.7	20.0
悪くなっている	6.7	6.7	3.3	6.7	0.0	▲ 6.7

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)



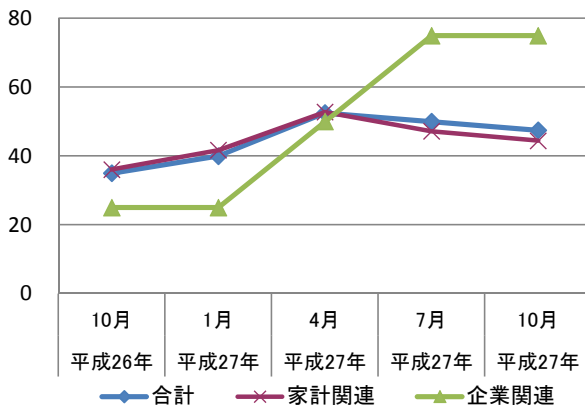
<下北地区> (参考)

①DI

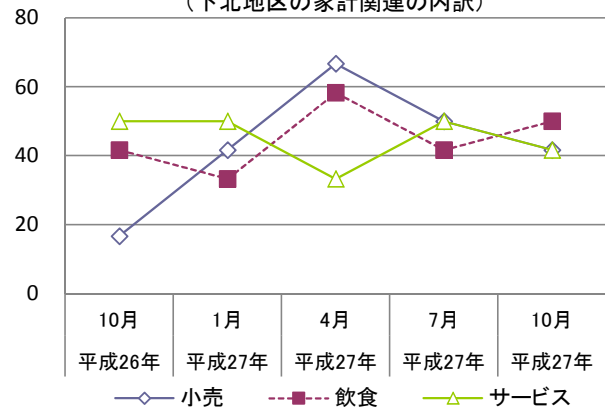
n= 10

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	35.0	40.0	52.5	50.0	47.5	▲ 2.5
家計関連	36.1	41.7	52.8	47.2	44.4	▲ 2.8
小売	16.7	41.7	66.7	50.0	41.7	▲ 8.3
飲食	41.7	33.3	58.3	41.7	50.0	8.3
サービス	50.0	50.0	33.3	50.0	41.7	▲ 8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	25.0	50.0	75.0	75.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3か月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



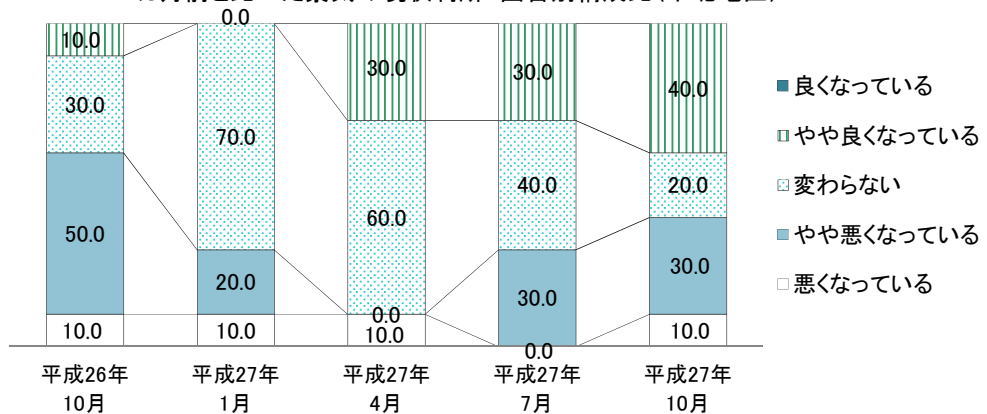
3か月前と比べた景気の現状判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	0.0	30.0	30.0	40.0	10.0
変わらない	30.0	70.0	60.0	40.0	20.0	▲ 20.0
やや悪くなっている	50.0	20.0	0.0	30.0	30.0	0.0
悪くなっている	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)



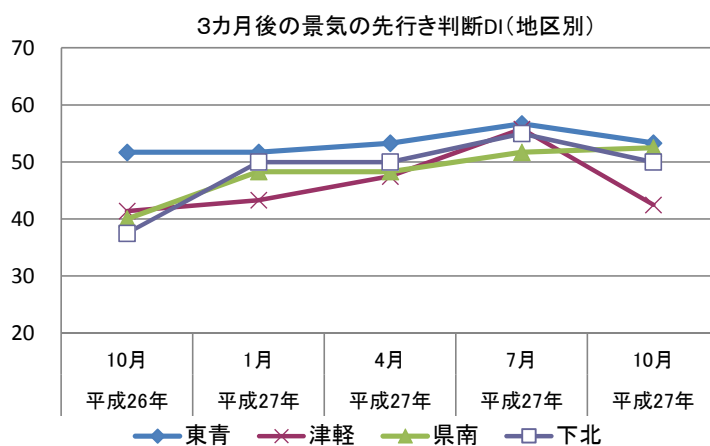
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

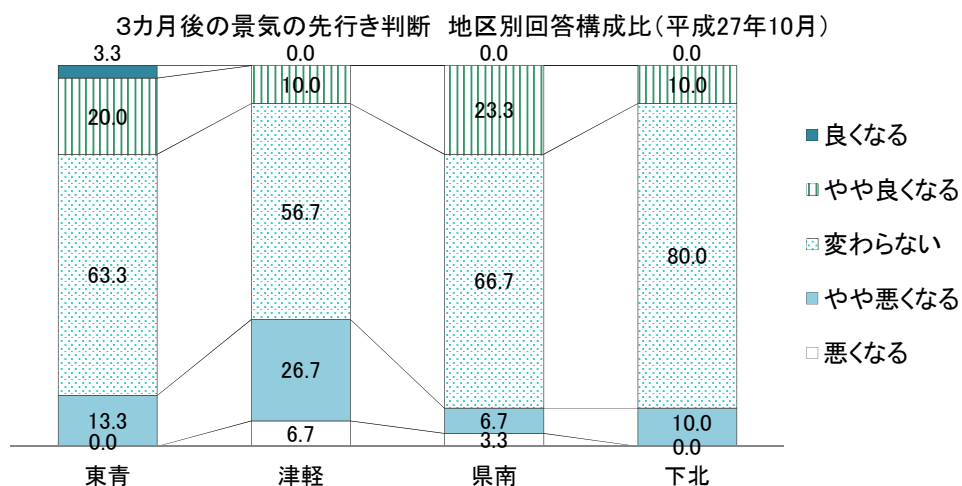
n = 100

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	43.7	48.0	49.8	54.8	49.5	▲ 5.3
東青	51.7	51.7	53.3	56.7	53.3	▲ 3.4
津軽	41.4	43.3	47.5	55.8	42.5	▲ 13.3
県南	40.0	48.3	48.3	51.7	52.5	0.8
下北	37.5	50.0	50.0	55.0	50.0	▲ 5.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	10.0	23.3	10.0
変わらない	63.3	56.7	66.7	80.0
やや悪くなる	13.3	26.7	6.7	10.0
悪くなる	0.0	6.7	3.3	0.0



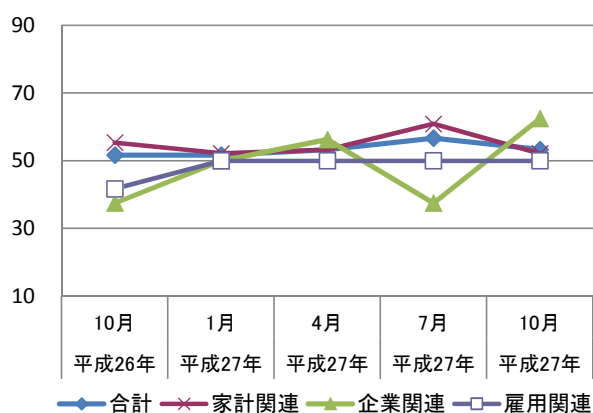
<東青地区>

①DI

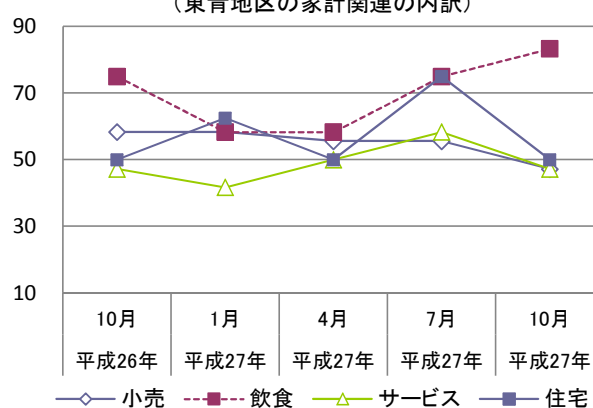
n = 30

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合計	51.7	51.7	53.3	56.7	53.3	▲ 3.4
家計関連	55.4	52.2	53.3	60.9	52.2	▲ 8.7
小売	58.3	58.3	55.6	55.6	47.2	▲ 8.4
飲食	75.0	58.3	58.3	75.0	83.3	8.3
サービス	47.2	41.7	50.0	58.3	47.2	▲ 11.1
住宅	50.0	62.5	50.0	75.0	50.0	▲ 25.0
企業関連	37.5	50.0	56.3	37.5	62.5	25.0
雇用関連	41.7	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



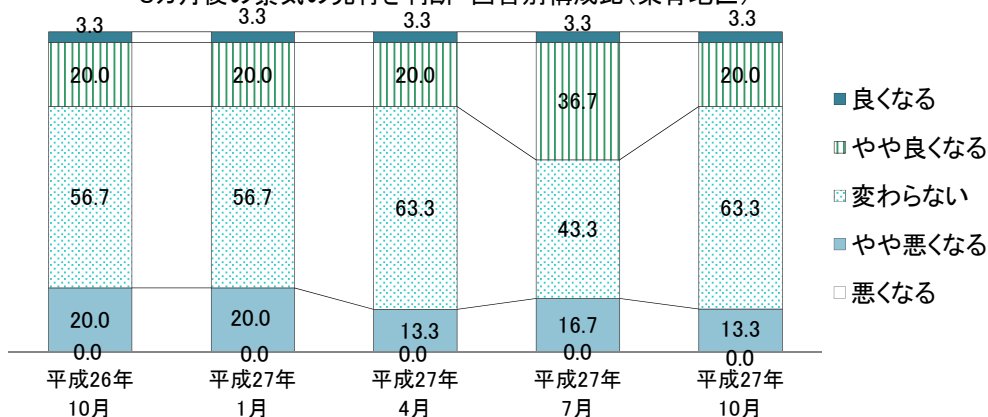
3カ月後の景気の先行き判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比(%)

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
良くなる	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	20.0	36.7	20.0	▲ 16.7
変わらない	56.7	56.7	63.3	43.3	63.3	20.0
やや悪くなる	20.0	20.0	13.3	16.7	13.3	▲ 3.4
悪くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)



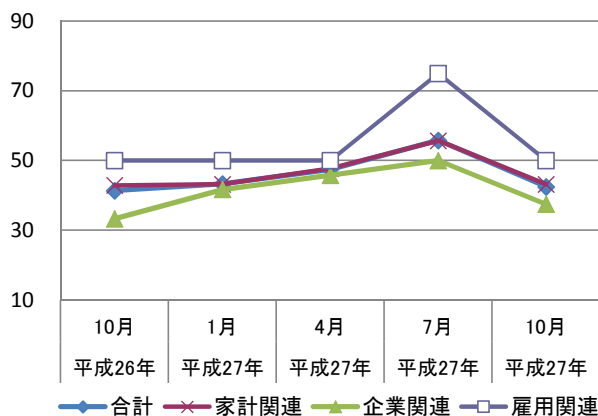
<津軽地区>

①DI

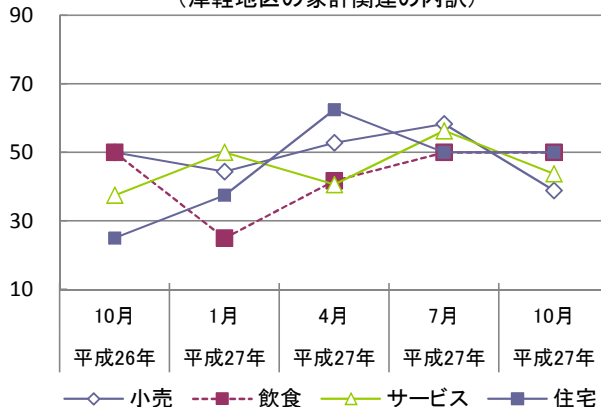
n=30

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	41.4	43.3	47.5	55.8	42.5	▲ 13.3
家計関連	42.9	43.2	47.7	55.7	43.2	▲ 12.5
小売	50.0	44.4	52.8	58.3	38.9	▲ 19.4
飲食	50.0	25.0	41.7	50.0	50.0	0.0
サービス	37.5	50.0	40.6	56.3	43.8	▲ 12.5
住宅	25.0	37.5	62.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	33.3	41.7	45.8	50.0	37.5	▲ 12.5
雇用関連	50.0	50.0	50.0	75.0	50.0	▲ 25.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



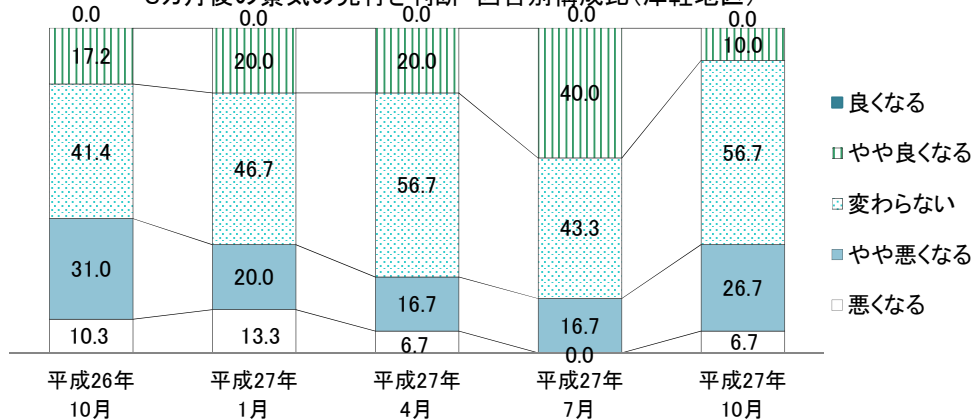
3カ月後の景気の先行き判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	17.2	20.0	20.0	40.0	10.0	▲ 30.0
変わらない	41.4	46.7	56.7	43.3	56.7	13.4
やや悪くなる	31.0	20.0	16.7	16.7	26.7	10.0
悪くなる	10.3	13.3	6.7	0.0	6.7	6.7

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)



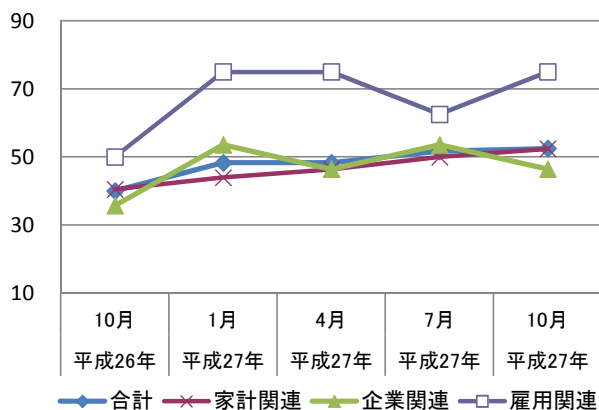
< 県南地区 >

①DI

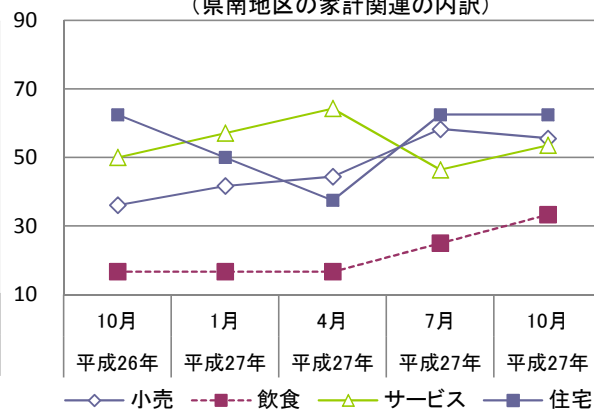
n = 30

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	40.0	48.3	48.3	51.7	52.5	0.8
家計関連	40.5	44.0	46.4	50.0	52.4	2.4
小売	36.1	41.7	44.4	58.3	55.6	▲ 2.7
飲食	16.7	16.7	16.7	25.0	33.3	8.3
サービス	50.0	57.1	64.3	46.4	53.6	7.2
住宅	62.5	50.0	37.5	62.5	62.5	0.0
企業関連	35.7	53.6	46.4	53.6	46.4	▲ 7.2
雇用関連	50.0	75.0	75.0	62.5	75.0	12.5

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



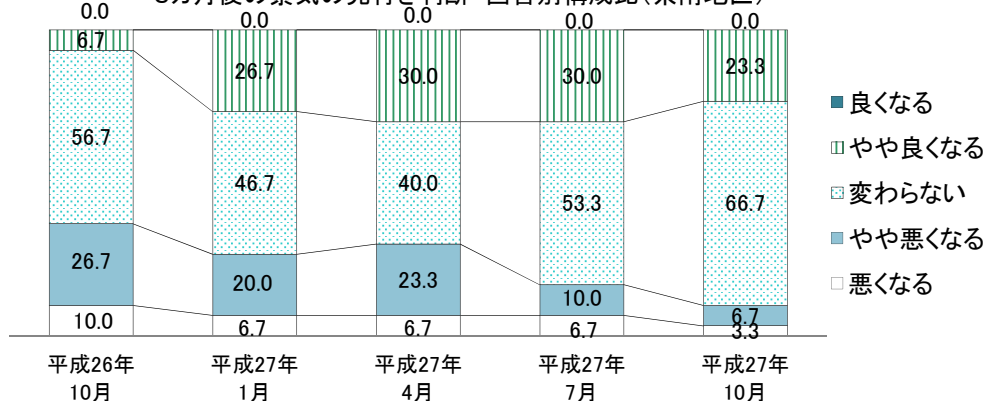
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	6.7	26.7	30.0	30.0	23.3	▲ 6.7
変わらない	56.7	46.7	40.0	53.3	66.7	13.4
やや悪くなる	26.7	20.0	23.3	10.0	6.7	▲ 3.3
悪くなる	10.0	6.7	6.7	6.7	3.3	▲ 3.4

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)

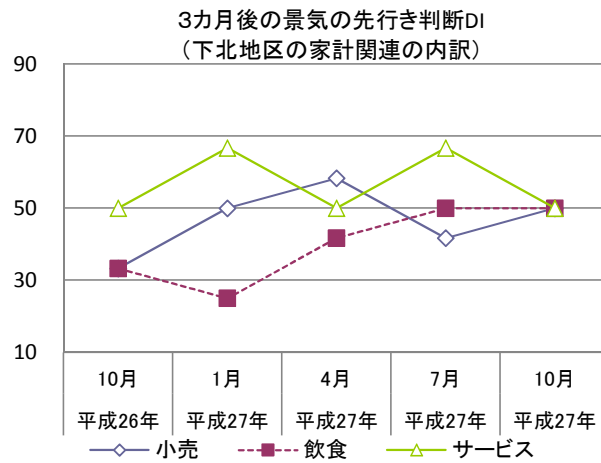
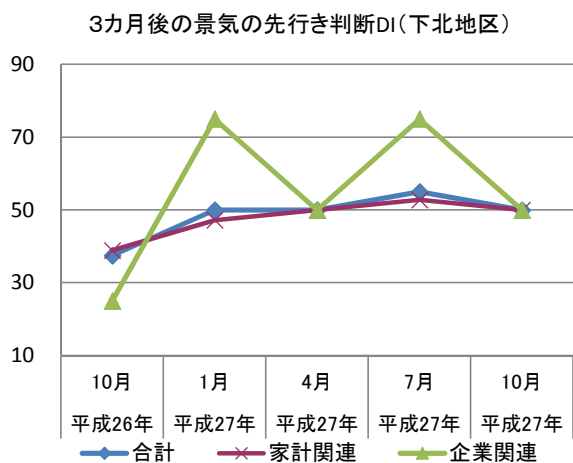


<下北地区> (参考)

①DI

n= 10

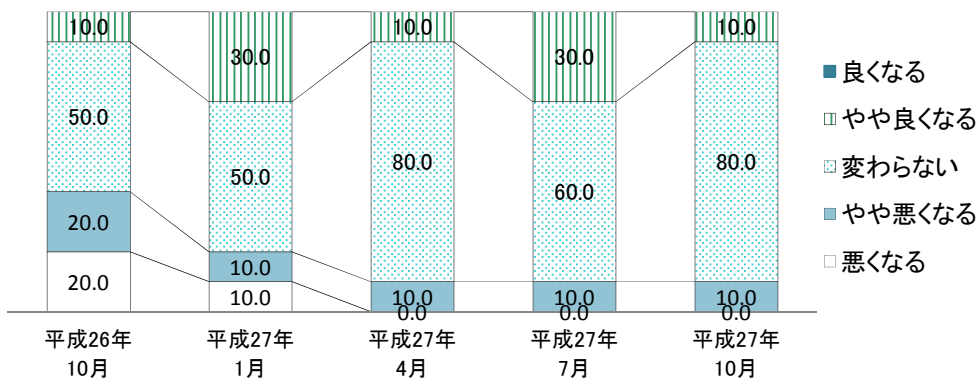
	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	37.5	50.0	50.0	55.0	50.0	▲ 5.0
家計関連	38.9	47.2	50.0	52.8	50.0	▲ 2.8
小売	33.3	50.0	58.3	41.7	50.0	8.3
飲食	33.3	25.0	41.7	50.0	50.0	0.0
サービス	50.0	66.7	50.0	66.7	50.0	▲ 16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	75.0	50.0	75.0	50.0	▲ 25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	10.0	30.0	10.0	30.0	10.0	▲ 20.0
変わらない	50.0	50.0	80.0	60.0	80.0	20.0
やや悪くなる	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0
悪くなる	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由	
良くなっている	家計	東青	一般飲食店	シルバーウィークがはいつてきて対応難しいですね。多く休み過ぎて変化ありすぎ。	
やや良くなっている	家計	東青	衣料専門店	「プレミアム券」の効果が出ています。利用開始の6月後半から売上は増加している。収入は増えていないので一時的な傾向とは思いますが、街の雰囲気が違うような気がする。	
			津軽	都市型ホテル	店舗（レストラン等）の売上げは景気を反映するが、やや上向きなため。
				商店街	プレミアム商品券と観光客増により。
				観光名所等	弘前城石垣補修に伴う曳屋工事見学者が目立った。
				観光型ホテル・旅館	9月シルバーウィークと割引旅行券を利用する宿泊客が増えたため。
				一般飲食店	今年、弘前城天守曳屋などで全国各地からのお客様が来たのでいつもより売り上にも多少影響していたように思います。
	県南	旅行代理店	売上増。		
		住宅建設販売	契約数が増えてきた。		
		観光名所等	客入数、売上共に若干伸びているから。		
		家電量販店	情報部門、特にPCの動きが悪い。インターネットの光の取組が変化している。コラボ系が伸びている。		
		一般飲食店	シルバーウィーク等の連休があり普通よりは、お客様の動きが多かった。		
		衣料専門店	6月、7月、8月とずっと昨年割れが続いていましたが、8月20日過ぎ頃から9月にかけて、いくらか寒くなり去年に比べ、秋冬物の動きが早かったため、売上につながったようです。		
	下北	一般飲食店	9月はまるっきり駄目だったのに、10月に入ってから予約が多くなってきたので。		
		レストラン	年内はプレミアム券が有るため少しは良くなると思う。		
		スーパー	「ちょっとよい物」が売れるようになった。		
	企業	県南	飲料品製造	出荷数量の下げ止まり、新商品、季節商材に関しての受注も反応が良くなってきた。ようやく消費税アップ、値上げの影響が薄れてきた感あり。	
		下北	食料品製造	製品出荷量が増えてきている。	
	雇用	東青	人材派遣	社員、人数を増やすための採用活動を積極的に展開している企業が増えていると感じたため。	
		県南	人材派遣	当社も（他社も）受注が増加しているから。一部の業種が特に。	
	変わらない	家計	東青	旅行代理店	お客様とのやりとりでも景気が良い話がない。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	百貨店	不要な物は消費しない。購買点数が増えない。単価は上がっています。
			都市型ホテル	はっきりした上向き下向きの動きが感じられず停滞気味である。
			設計事務所	業界に限らず、社会全体が静かに推移しているように感じます。
			商店街	良くもなく、悪くもなく、横ばいが続いており、消費は低迷している。
			住宅建設販売	今のところ、3ヶ月前と比較しても、集客、受注ともに大きな変化がみられていないため。
			観光名所等	4～6月の入場者数は各月とも前年比増となっているが、その増加率は縮小基調にある。
			スナック	全く解りません。私達飲食業はとにかく大変だと思います。私は若くないのでそれなりにお客様が楽しんで頂くような営業を考えております。若い経営者に頑張ってもらいたいですね。
			スーパー	客数、客単価については、変化がない。
	津軽		旅行代理店	個人消費の伸び、業種間の格差がある。
			百貨店	売上は前年並みの進捗。7月～9月売上は前年並み。
			設計事務所	民間の仕事量も3カ月前と比較しても不変であり、コンスタントに受注出来ている。
			乗用車販売	景気回復が遅く、増税からの落ち込みから回復の兆しが見えない。
			住宅建設販売	建設業の場合、今の時点で今年度の売上目標達成が可能な数字が上がっている会社は多くはないと思う。
			衣料専門店	売上が変わらない。
			スナック	市で色々なイベントはあるものの飲食店への流れはほとんどない。
			コンビニ	マラソン大会やイベントなどがあるので変動が大きい。
	県南		百貨店	気温が下がって衣料品や生活用品の一部に動きが見られるものの、食料品の値上げや天候不順による生鮮品の価格高騰等の影響もあり、お客様の購買行動は二極分化しているため。
			設計事務所	最近は一時の様な勢いが無い。
			観光型ホテル・旅館	社会情勢で諸々あるが、国内において大きな変化はないと感じる。
			レストラン	飲み会や外食にお金をかける地元の人達が減ってきている。どちらかという、出張や旅行に来ている方に今は支えられていると思う。
			タクシー	お客様に聞いても誰一人として「良い」という返事をする人がいない。全国青年会議所の大会は、私達にはとても良かったけれども、全く関係なかったという商売の人達の方が多い。
スーパー			お買い上げ金額はあまり変化がない。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	コンビニ	買い物は必要最小限で財布の紐は固いです。
			ガソリンスタンド	販売量などから、個人消費の動向を考えた場合、目立って大きな動きを感じられないため。
		下北	都市型ホテル	宿泊数は安定しているものの、一般宴会等は相変わらず低調のまま。
			タクシー	売上がほとんど変わらない。
	企業	東青	広告・デザイン	自治体、ディーラー、金融を中心に広告出稿が伸びている。
			建設	「建設業は良いでしょう」と言われる事が多いが、全く実感がない。
			経営コンサルタント	生鮮食品を中心とした価額の強含みが続いており、消費に力強さが見られず横ばいの状況が続いている。
		津軽	広告・デザイン	受注物件数、月別売上金額等に変動が無く経過している。
		県南	食料品製造	前沖で魚があがらないが、相変わらず客からの引き合いはあるので、良くも悪くもない感じです。
			広告・デザイン	仕事がないわけではないが、広告は厳しい状況下にあると思う。
			経営コンサルタント	消費税8%の影響はほぼ脱したと思われるが、建設業は公共工事受注にやや一服感がある。
	雇用	東青	新聞社求人広告	良くなっている感じがしない。
		津軽	新聞社求人広告	業種によってばらつきがあるが、景気は一進一退。
		県南	新聞社求人広告	悪い材料もないが、これといった良い材料もない。
	やや悪くなっている	家計	東青	美容院
競輪場				売上と入場人数が減少している。
観光型ホテル・旅館				原料価格が上昇しても販売価格に変わりない。
家電量販店				売場においては、大容量、低価格志向が続いてるほか、コンビニやドラッグストア等の競合出店が続いてるため。
レストラン				秋の行楽シーズンで週末になればどこかで催し物があり、そちらに行ってしまう。
津軽		一般小売店	7月はよかったが、消費税増税の影響が収まってきた去年の9月に比べて、今年の9月は前年割れをしたために下向きになってきたように感じる。	
県南		美容院	確実に来店頻度が長くなっています。いつもの1カ月以上遅い方が増えた感じです。	
		乗用車販売	車の販売で言うと、かなり距離（10万km）を乗ったお客様や、10年以上乗っているお客様が普通に車検を取っている。	
		商店街	価格競争がはげしく感じるから。	
		卸売業	景気の良い話をする方に会う事がない。実感として消費税UP分を節約しての生活になりつつあり、経済がうまくまわっていない。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	県南	一般小売店	大手スーパーマーケットの全国的不採算店撤退のニュースは当地域では無い事を願うばかりだ。
			スナック	品物が上がっているのでもなんとも良くはないと思う。
		下北	一般小売店	プレミアム商品券での売上増を期待しましたが、一瞬でした。その後は、客数減。特に何が原因なのか不明ですが、近くのお店も何となく暇そうです。
			コンビニ	夏場より客足は減ったと思う。寒い日や雨の日は特に。
	企業	東青	ガソリンスタンド	土建業の仕事が少ないらしく、それに付随した業者の業績が悪いらしく、我々も軽油の数量が減っている。
			食料品製造	サンプル依頼ばかりが多く、なかなか実績にならない。
		津軽	経営コンサルタント	シルバーウィークが過ぎた後は、消費は買い控え傾向にあるように感じる。比較的安価な飲食店、スーパーでの集客はあるが、高級店やホテル・行楽地でのイベント企画は人の入りがイマイチなかった。まだ、生活へのゆとりが感じられない。
			県南	電気機械製造
建設	中国経済の減速、株価低迷、第2次アベノミクスに具体性とインパクトなし。			
悪くなっている	家計	津軽	ガソリンスタンド	賃金だけが上がり、景気がリンクしていない。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	お客さんが求めているものが見えると変化もでてくると思います。
やや良くなる	家計	東青	スナック	良くなって欲しいです。12月に向けて色々な会合に期待しております。
			レストラン	正直わからない。いい方向に向かってほしい。
	津軽		設計事務所	以前と比較して、少し高級なもの（グレードの良い物）を希望するお客様が増えてきていると感じる。
			スナック	年末に向けて少し賑やかになることを期待しています。
	県南		美容院	これまでの反動と冬支度の需要と最低賃金のUPが引き金になって欲しい。
			住宅建設販売	消費税増税まではいけると思う。
			衣料専門店	このまま寒さが続いてくれると期待も込めて良くなるのではと思います。
			スーパー	年末は、地域的にお買物が多くなり、帰省客も増える。
	下北		タクシー	年末に向けて、人の動きが期待できる。
	企業	東青	広告・デザイン	年末商戦などに向け期待。
			経営コンサルタント	一次産業の米、リンゴ、野菜、ホタテ等に期待している。米は全般に豊作の様子。リンゴの強風被害も心配した程ではない模様。ホタテは23年度の高温被害より立ち直りつつある。大根を中心とした野菜も好調。石油の安定より運送業も好調が続いている。
県南		飲料品製造	年末の最盛期に向かって推移が順調、期待できる。	
雇用	東青	新聞社求人広告	希望的観測。	
	県南	新聞社求人広告	希望的観測。	
		人材派遣	特に一部の業種では忙しいと聞くことが多いから。	
変わらない	家計	東青	住宅建設販売	これから冬に入る一番厳しい時期となるため、上向きになるとは考えづらい。例年同様で、むしろ推移してほしいと願う。
			都市型ホテル	不透明感が強く足踏み状態が続くと思われる。
			ガソリンスタンド	建設業界では、やや受注が増えているようだが、景気が好転するには力不足。
			設計事務所	メンテナンスの足場に囲まれた既存建物が市内ところどころで見受けられる。消費税アップはまだ先ですが、冬季前の対応と思われる。
			観光名所等	増加率縮小基調であるものの、累計で前年比1割程度の増加を維持しており、今後、急激な増減要因はないもの。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	スーパー	消費税増税の反動が弱まり、今後の景気に与えるプラス与件がない。
			百貨店	良くなる要素が少ない。
			美容院	商品売上が減少し、低価格商品の売上がかろうじて水平を保っている。
			商店街	空き店舗も一進一退といった感じで推移しており、景気も同様の動きのように感じます。
			パチンコ	良くなるのか、悪くなるのか、判断しにくい状態です。
	津軽		家電量販店	低気圧による強風でのリンゴ落下被害が消費にどう影響してくるか。地域性からか、所得改善の遅れによる個人消費の回復も遅い。
			百貨店	食品に関しては、大きな変化はないと思われる。ただし、衣料品においては不透明である。
			観光型ホテル・旅館	割引旅行券第2回目が11月25日から2月29日で発売になるので、それがなければやや悪くなるのではないかと考えられる。
			都市型ホテル	良い要因（法人税減税等）と悪い要因（消費税増税、人件費UP）が均衡している。
			観光名所等	先行き不透明。
			コンビニ	人口が増えれば景気は良くなると思います。青森市と弘前市と比べれば。
	県南		乗用車販売	財布の紐は依然として固い。
			商店街	あまり明るい材料がない。
			一般小売店	マイナンバーのニュースだけが話題となりがちだが、経済的なプラス要因は何もない。
			設計事務所	政府の政策が地方まで行き届かないと思う。
			卸売業	先々を考えて財布の紐がかたくなっているために、実態より悪い方向に向かうのではないかと。
			コンビニ	これから灯油等の燃料費の負担が増えるため、売上が上がるとは思えません。
			百貨店	客数は伸び悩んでおり、可処分所得の減少等で消費は一進一退の足踏み状態と思われるため先行きは不透明である。
			観光型ホテル・旅館	社会情勢で諸々あるが、国内において大きな変化はないと感じる。
			一般飲食店	諸要因での物価高、大イベント終了（JC全国大会）による減退、あとこれと言って良い事柄がない。
			観光名所等	商品に大きな変化がないから、ガクンと落ちる事はないと思うが、このままゆるやかではないかと思う。
			ガソリンスタンド	地方における賃金動向を勘案した時、中央との格差の拡がりから、変わらないとしたものの、やや悪くなる懸念もあるものと思う。
旅行代理店	基本的な成長力に欠けるので。			

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	スナック	毎年お祭りが始まるとますます静かになる。
			タクシー	また、値上げの声が聞こえている。収入はなし、支出は多くなるし、不安定要素が多く見られる。
		下北	都市型ホテル	現在の予約状況を見ると前年並みで推移しているため。
			レストラン	プレミアム券は年内までなので、何とも言えない。
			一般飲食店	今のところ先が見えないので、変わらないとした。
			スーパー	中国経済。原発の運転・停止。
			コンビニ	年末年始にお金を使うため、その後、買い控えをする方が多いよう。
			一般小売店	良くなる要素は何もないと思われます。
	企業	東青	食料品製造	在庫を持ちたくないのに、相手が欲しいと言えば、(当社に)今すぐ欲しいと言う。メリット、デメリットを各々感じてほしい。
			津軽	経営コンサルタント
		津軽	広告・デザイン	特に見積依頼件数が増えている訳でもなく、しばらくは現状のままと思われ、悪化する要素は少ない。
			飲料品製造	取引先等の聞取りで、さほど変わらないと言う人が多かった。
			県南	食料品製造
		県南	広告・デザイン	正直わからない。広告に対してコストをかける意識は薄く、特に中小企業は継続的な広告展開は考えられないし、価格競争も激しく、利益を残せない。
経営コンサルタント			顧問先の多くで賃金のベースアップを図っており、結果的に固定費の上昇となった。収入の方は、若干回復基調なので、プラスマイナスゼロか。	
下北			食料品製造	プレミアム商品券の使用期限が終わったり、冬場に入っていくため。
雇用		東青	人材派遣	募集時の平均賃金が一部を除いて全国平均より下回っており、悪くなっているわけではないが、好転しているとも計れない。
		津軽	新聞社求人広告	好材料が見当たらない。
	人材派遣		昨年4月の消費税増税の影響が残っている状況にあると思う。スーパーマーケットなど、ほとんどの小売店では価格を外税で表示してあるが、レジ後レシートの消費税額を見てあらためて増税を実感する。一方所得は増えていない。これでは購買欲が薄れ、消費が増えないと思う。	
やや悪くなる	家計	東青	衣料専門店	「プレミアム券」の効果の反動と実質賃金が増えていないようですので、景気浮揚の要素が見えない。
		観光型ホテル・旅館	新幹線開業の直前にあたり、買い控えのような状況になると思われる。	
		家電量販店	既存店ベースでは、全国的に厳しく、県内においても客数の減少トレンドが続いているため。また、浮上する様な明るい兆しが見当たらないため。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	津軽	住宅建設販売	消費税が8%に上がる時が決まっていた時は2～3年前からお客様の動きがすでにあつたが、今回はまだ全然その動きが感じられない。
			商店街	プレミアム商品券が10月末で終わるため。
			衣料専門店	株価が低い。
			旅行代理店	強風による津軽地区のりんご落果の影響。
			一般飲食店	今年、春が早いせいか秋・冬も早いようにも思います。催し物があるたび雨・風が多く大変でした。この先寒さが続くと、売上にも響いていくと思います。
			一般小売店	20代、30代の女性の県外への転出が自店の客の中からも実際に見られる。青森県の人口減が進行中。
	下北	ガソリンスタンド	観光シーズンも終わり、景気が良くなる要素が見当たらない。	
	企業	県南	電気機械製造	中国を中心にアジア諸国の景気は悪化していて注文も減っている。しかし、円安での旅行者や燃料安で国内の需要が喚起されている様子が見受けられ、すぐに大きく悪くはならないと感じる。
			建設	中国経済の落ち込みの影響がジワジワ効いてくる気がする。
悪くなる	家計	津軽	ガソリンスタンド	中国の景気減退の影響が日本にもそろそろ出てくるのでは。
		県南	レストラン	このまま、地元の人達が外食や飲み会にお金をかけず、忘新年会の数が減ると、今後3カ月は今より悪くなると思います。

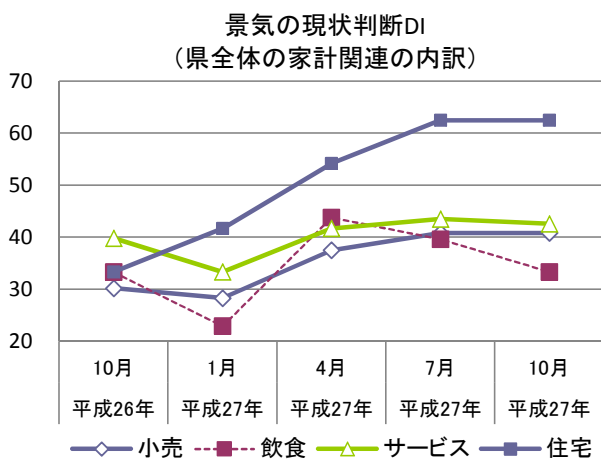
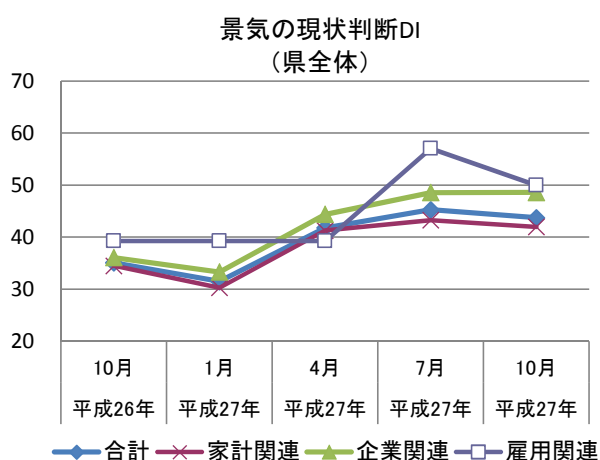
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

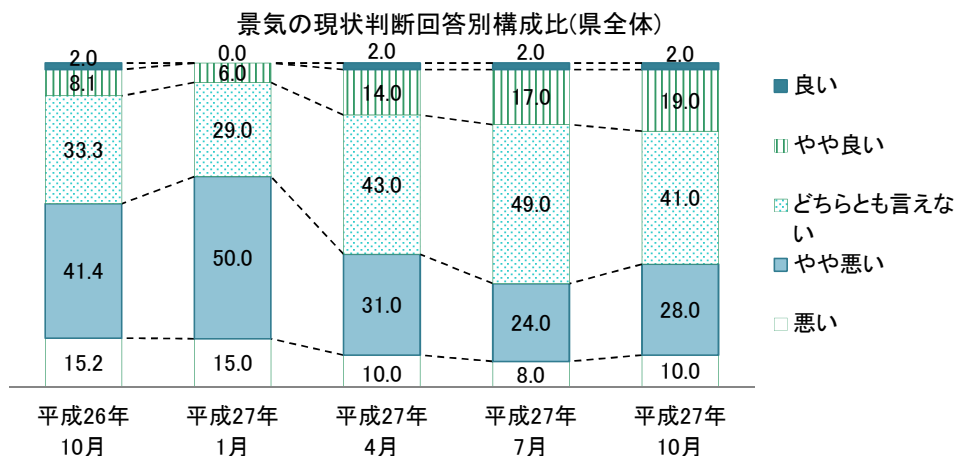
n = 100

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	35.1	31.5	41.8	45.3	43.8	▲ 1.5
家計関連	34.5	30.3	41.3	43.3	42.0	▲ 1.3
小売	30.2	28.3	37.5	40.8	40.8	0.0
飲食	33.3	22.9	43.8	39.6	33.3	▲ 6.3
サービス	39.8	33.3	41.7	43.5	42.6	▲ 0.9
住宅	33.3	41.7	54.2	62.5	62.5	0.0
企業関連	36.1	33.3	44.4	48.6	48.6	0.0
雇用関連	39.3	39.3	39.3	57.1	50.0	▲ 7.1



②回答別構成比 (%)

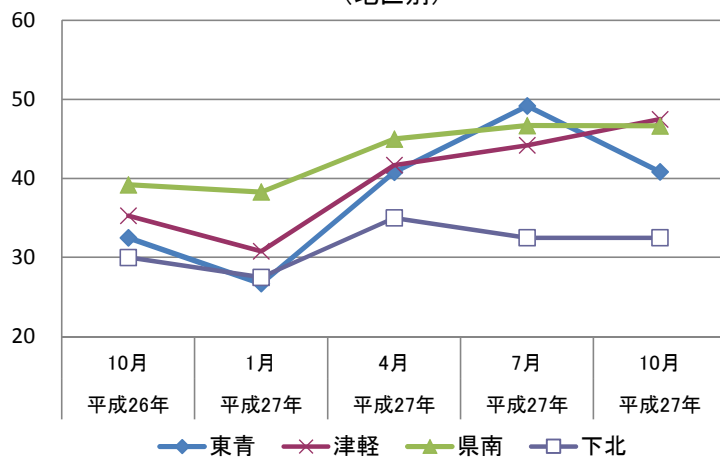
	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
良い	2.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0
やや良い	8.1	6.0	14.0	17.0	19.0	2.0
どちらとも言えない	33.3	29.0	43.0	49.0	41.0	▲ 8.0
やや悪い	41.4	50.0	31.0	24.0	28.0	4.0
悪い	15.2	15.0	10.0	8.0	10.0	2.0



③地区別DI

	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	前期調査 との差
合 計	35.1	31.5	41.8	45.3	43.8	▲ 1.5
東青	32.5	26.7	40.8	49.2	40.8	▲ 8.4
津軽	35.3	30.8	41.7	44.2	47.5	3.3
県南	39.2	38.3	45.0	46.7	46.7	0.0
下北	30.0	27.5	35.0	32.5	32.5	0.0

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	「プレミアム券」他都市の実行例などと比べると当市は発行主体の商工会議所がいいシステムを組んでくれたと感謝している。利用が大型店に傾斜しがちな事業を前回の実施例を参考に対処してくれている。福祉家庭対象も直接送付した青森市の対策も見事でした。指定地域でしか使えない券で、利用期限があるプレミアム券購入に22億円もタンス貯金から引き出されるわけで経済効果が無いはずがないのです。活用の仕方です。
		一般飲食店	根本的な案を出して実行していくことを行政に望みたいです。仕事してる的ではなく、本当に社会を変えていく意気込みをみんなもちたいです。
		レストラン	ぜんぜん見通しがたたない。わからない。
		タクシー	自分の仕事関係ですが、青森でライブ（コンサート）をやってもチケットが売れにくいので、ライブ（コンサート）を青森で行えなくなっていると関係者が言っていました。
		美容院	マイナンバー制度への理解不足や不安が多くみられる。
		住宅建設販売	消費増税までもそんな時間がないのに、世間ではまだ対策や認識に対してまだまどうすい。
	津軽	百貨店	青森市では、外国人の買上げがあると聞くが、弘前市内では少ないと思われる。
		一般小売店	地元の人の景気の悪い中、中国人留学生のプチ爆買いに救われている。曳屋で観光客が多かったが、自店には影響なし。飲食業は良かったのではないか。
		一般飲食店	今、マイナンバー制度が始まり、個人情報などちっと考えさせられる気もあり、もう少し説明がほしいように思います。
		旅行代理店	児童、生徒をもつ家庭で学校での行事、部活動等での貸切バスの負担が増えていて、それが他の消費に影響している話をよく聞きます。
		ガソリンスタンド	金融、緩和政策のわりに、地方に来ていない。東京だけオリンピック景気の様だ。資金を貸し出す地銀も大変な様だし。
		設計事務所	数年前までは、工業高校建築科の生徒の地元就職が少なかったが、今年は募集する地元業者が多く、競争率が非常に高いです。建築業界（地元）の景気の良さを感じます。
	県南	コンビニ	店舗数が増え続けており、客数、売上維持していくのがやっとなです。
乗用車販売		プレミアム商品券的なものをロングランや様々な物品に使える様な施策が欲しい。	
一般小売店		中心商店街にある大手全国チェーンの居酒屋が撤退した。昨年閉店した大手ドーナツ店の跡地もまだ空いたままだ。	
商店街		残暑がなく急速に冷え込んできたことで医療に関心が向いている感を受ける。	
卸売業		八戸の三社大祭、J Cの全国大会が八戸で開催されましたが、「予想より売上が伸びない」e t c商店街の声が聞こえました。プレミアム商品券などの効果がもっと波及しても良かった様に思うのですが。	
一般飲食店		経済は大企業の数値が良いと平均が上がり、あたかも全国で良いみたいに思われるが、ローカルの中小企業は苦勞している現況を行政側からもプッシュして頂き、ローカル対策をしっかりとやってほしいものです。	
旅行代理店		青年会議所全国大会で来客が多数。	
タクシー		年金を手にしても、天引きされるのが多く、生活費の切り詰めもどうしたらいいかと頭を悩ませている。	

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	美容院	安保法案の決着により、別な話題で目先を変えようとしているので、経済、景気方面のお得感の情報が出て来るのではと期待している。
		ガソリンスタンド	有効求人倍率に見られるように、求人の難しさが徐々に出てきている。特に中小企業において、充足できない状況が続いている。
	下北	スーパー	原発の停止による停滞。世論と現実的経済との間で揺れ動きます。
		一般飲食店	昔は10年も20年も先を見ながら商売をしてきましたが、今現在は全く先が見えません。やはり今の政府、政治が悪いのだと思います。国民のことより自分たちのことしか考えていないと思っております。
企業	東青	建設	青森市は経済の「地力」が低下している。
	津軽	食料品製造	パートの時給も去年よりかなり上げているにもかかわらず、求人してもなかなか人が集まらない。業務に支障がでそう。
		飲料品製造	今後はマイナンバー制度、増税、TPP、年金と問題があり、将来が不安です。
		建設	マイナンバーがいよいよスタート、配付されますが、番号の管理、情報漏洩は大丈夫なのか、不安。やる方にもしもの場合、罰則がきつく、国側は万全な対策はとれているのか。もし、漏洩の場合、責任体制は出来ているのか、いつも同じやむやにならないか。いずれにしても始まっている。
		広告・デザイン	先日、出張で小樽へ行ってきたが、相変わらず中国、台湾の観光客が多く、宿泊ホテルも旅行代理店が押さえているため、空室が無く、室単価も高額の状態。しかし、中国経済も悪化に向かっているとの事であれば、今後観光地を含め様々変化していくのでは。
	県南	食料品製造	食品業界は大きな動きはありませんが、車を買いかえたり、家を建てたりという動きが周辺で多いと思います。
		飲料品製造	地元消費は勢いがまだなかなかついていない気がするが、首都圏での動きに勢いがついてきた。
		電気機械製造	「航空産業を誘致するぞ」と八戸市の大々的発表があったが、県の呼応する具体的な動きを感じられない。全力を挙げて今、取り組まなければならないのにあまりにのんびりしていないか。補助金など重点配分して今すぐ盛り上げるべき。青森県は民間機就航2空港、陸海空自衛隊、米空軍もある航空産業に大変身近な地域なのです。
		経営コンサルタント	利益の上がない企業は、そのまま低迷して経済の下層部から脱け出せそうもない。このまま固定化してしまうのか心配です。
		広告・デザイン	広告業界の今後を考えると、広告代理店というポジションの様な”代理店”というポジションにある会社はインターネットの普及もあり将来的に淘汰されるでしょう。
	下北	食料品製造	地域外からのお客様はシルバーウィーク。地域内のお客様はプレミアム商品券と今回はそこそ各職種もよかったのでは。
雇用	津軽	新聞社求人広告	シルバーウィーク中に弘前公園の弘前城天守曳屋で多くの観光客が訪れにぎわった。弘前市内の宿泊関係は好調だったようだ。
	県南	新聞社求人広告	住宅関係の広告が若干増えている。別業種にも波及してくれれば。